

## バスラ日誌（6月5日）

1 幕僚長の■■■■■は、2度目のMND（SE）幕僚長勤務であることは、既に述べた。着任早々多くの重大事案が発生し、心痛もいかばかりかと察するものがある。毎日精力的に働く姿は、前任者のペイビイストック大佐と同じで、朝早くから夜遅くまで忙しそうである。外見や話し方などは、紳士的でどちらかというと研究者タイプのような印象を受けるが、先日■■■■■が紹介していたようにOBE（勲章）も受賞されており、燃える情熱を内に秘めた熱血指揮官タイプであるのかもしれない。イラク勤務は3度目ということで、対イラク戦争時には連隊長として、部隊を指揮されたそうである。一昨日のVBIEDといい、英軍殉職者の増加といい、心が安まる時はないのかもしれないが、師団の取り纏め役として頑張っていただきたいと思う。小瀬隊長、■■■■■企画官との懇談も業務の合間を縫って、昨夜2000から実施していただいた。

本日の予定も順調に進み、昨日と併せて10カ所の表敬を終えて隊長以下お疲れと思うが、明日の移動を一部変更せざるを得ず、サマワへの帰還は明後日以降となった。申し訳ない。 (■■■■■)

2 昼休みに売店に行ってみると、店内がワールドカップバージョンに模様替えされていた。イングランドの国旗、帽子、ユニフォームやマグカップ等イングランドに関するグッズが、所狭しと陳列されている。やはり、イギリスの人達はサッカーに目が無いということを知ってか、売店側が気を使って模様替えをしたのだろう。そういえば、師団司令部J3の片隅の掲示板にもワールドカップの対戦表が掲示されている。その対戦表は司令部で勤務している人がいる国はしっかりと色づけされている。（日本はなぜか水色で着色されている。）また、居住区においてもヘスコの上やコンテナとコンテナの間の通路に小さなイングランドの国旗を掲揚しているのが目立つようになってきた。遠く離れたイラクの地からイングランドを応援している姿はすさまじいものを感じる。私達は業務に専念するため（テレビが壊れているため？）生中継で日本戦を観戦することはできないが、イラクの地から愛国心を旺盛にして応援したい。 (■■■■■)

3 本日快晴。バスラ9名、極めて健康。

(■■■■■)